

こうふ未来ミーティング

—コロナ禍における未来に向けたまちづくり—

次第

1. 地区からの挨拶
2. 市長説明
3. 意見交換



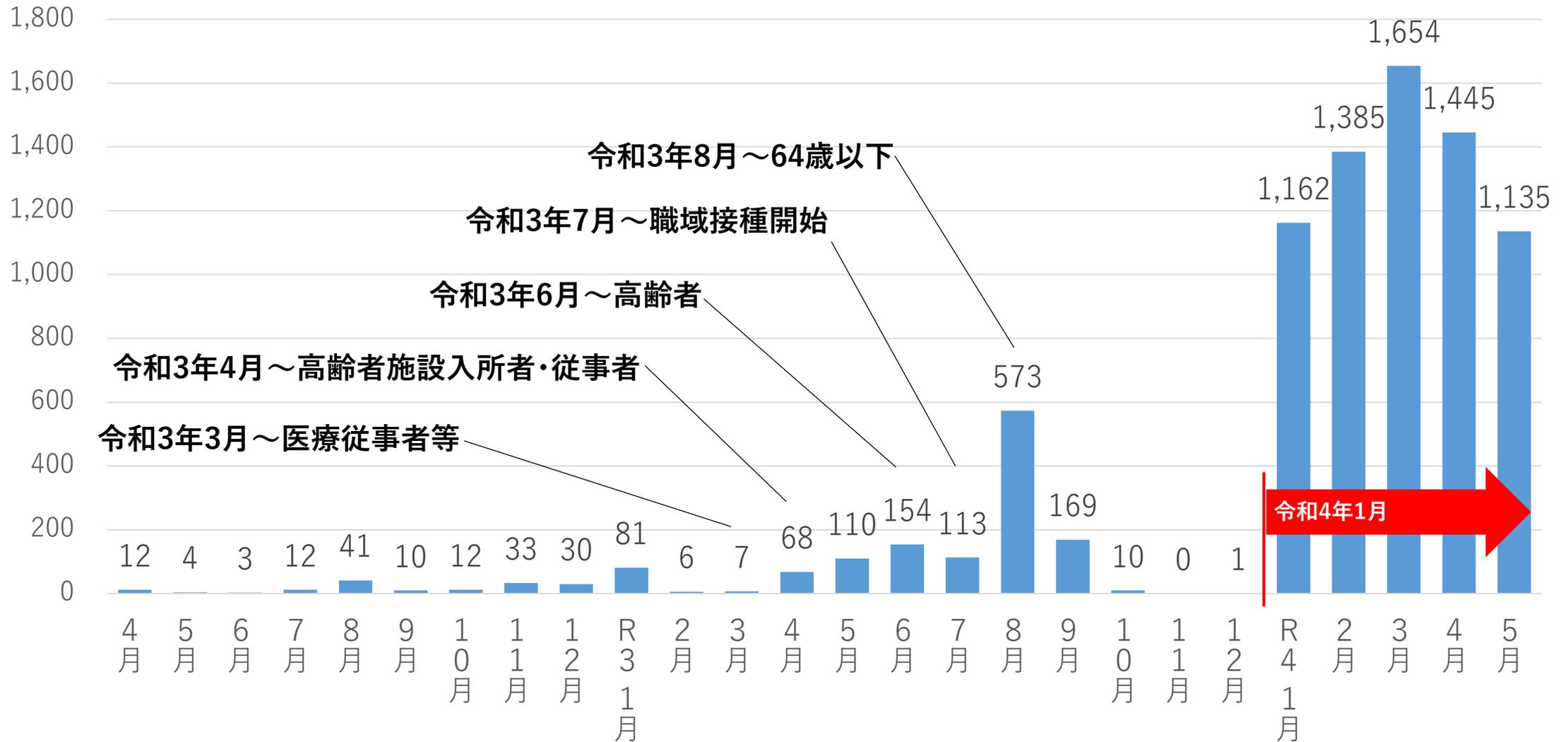
目次

1. 「安心」 コロナ禍の暮らし
2. 「安全」 災害に備えた暮らし
3. 「健康」 元気な暮らし
4. 「連携・協働」 未来に向けて

1. 「安心」 コロナ禍の暮らし

甲府市における感染状況

甲府市 新型コロナウイルス感染症陽性者数



ワクチン接種と感染症対策

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて

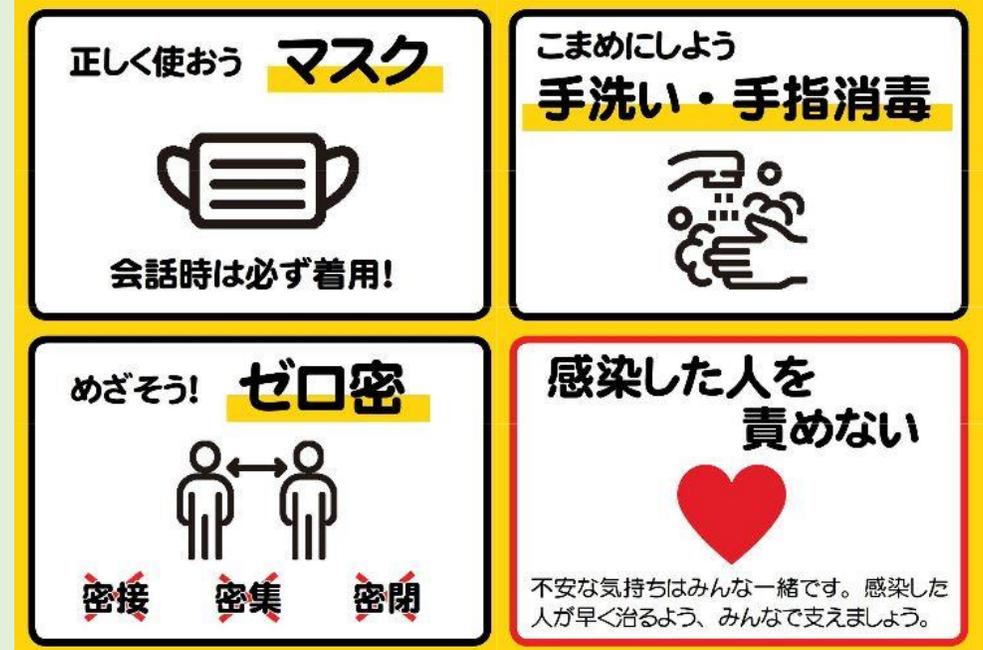
① ワクチン接種



甲府市では…

- ・ 接種の早期開始（接種時期の前倒し）
- ・ オンライン予約の代行
- ・ ドライブスルー接種の実施 など

② 感染予防

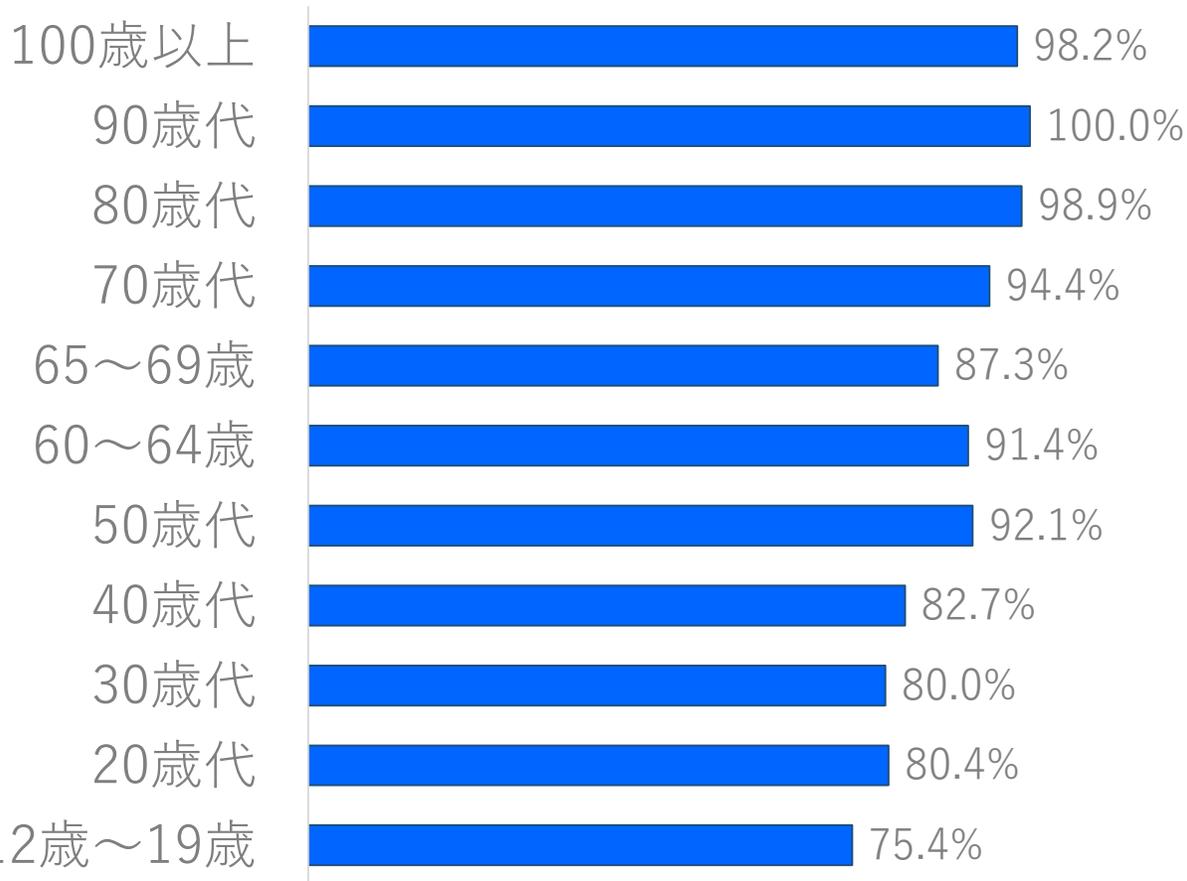


甲府市では…

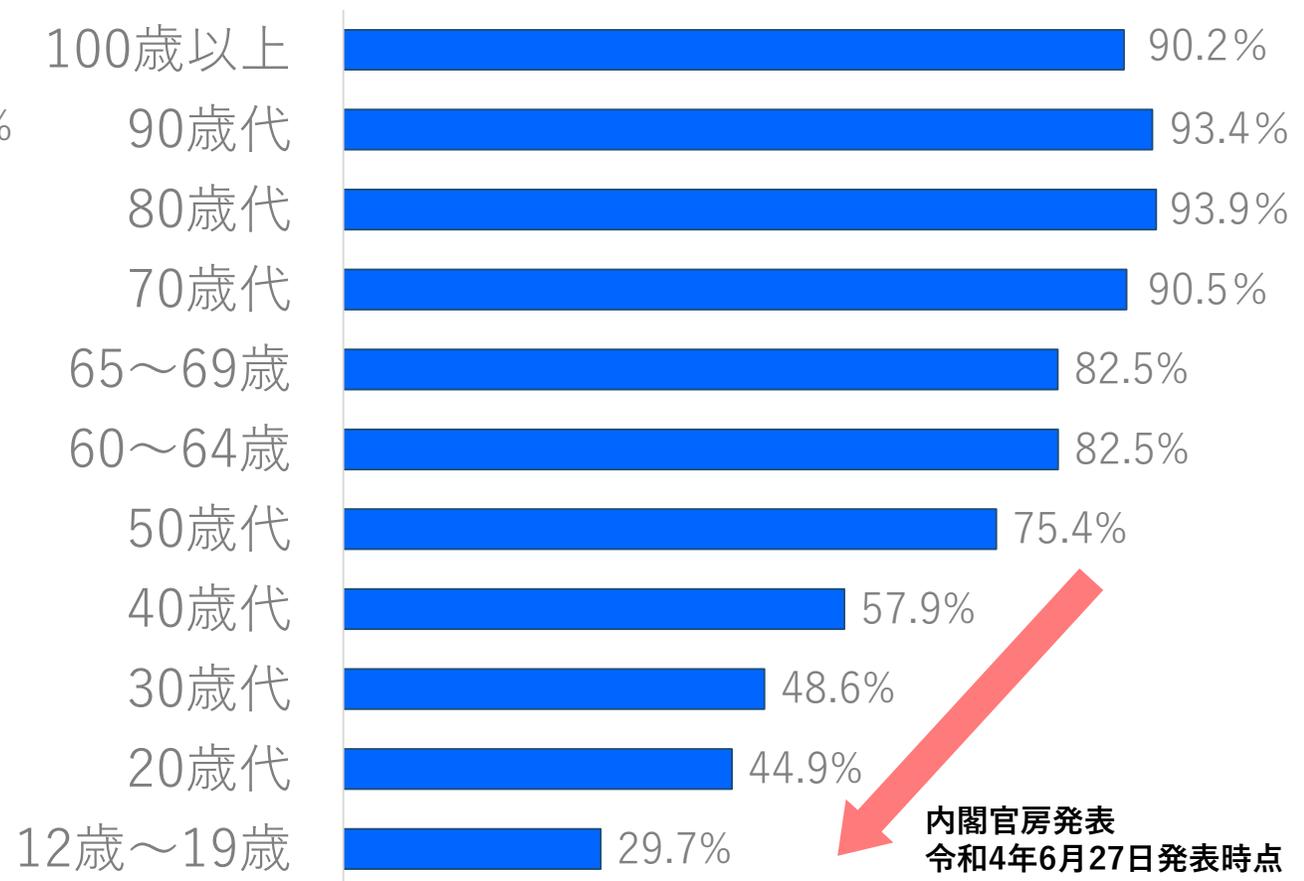
- ・ 市独自の無症状者PCR検査 など

年代別の接種率（全国）

2回目接種完了者



3回目接種完了者



内閣官房発表
令和4年6月27日発表時点

ワクチンの効果は時間が経つと低下してしまうため、感染拡大防止及び重症化予防の観点から、2回目接種を完了したすべての方に対して、追加接種の機会を提供することが望ましいとされています。

ワクチン接種の今後の予定

12歳以上の3回目接種について

- 今年2月までに2回目接種を完了した方 ➡ すでに接種券を送付済です。
- 今年3月以降に2回目接種を完了した方 ➡ 概ね5か月後に接種券を送付します。

12歳以上のワクチン未接種の方

- すでに接種券を送付済です。

5歳～11歳の1・2回目接種について

- すでに接種券を送付済です。



予約 方法

集団接種・総合病院 ➡ オンライン予約またはコールセンター(0120-327-198)
市内協力診療所 ➡ 電話のほか、通院時に予約の相談をしてください。

新型コロナウイルス感染症への対応

コロナの脅威に対して、これまで…

中核市の強み

「保健所機能を有する健康支援センター」を
公衆衛生の拠点



- 「帰国者・接触者相談センター」の設置（保健所内） など
- 新型コロナウイルス感染症に関する対応策
 - ▶ 感染拡大の防止と対策機能の強化
 - ▶ 市民生活への影響の抑制
 - ▶ 経済活動の不安の縮小化

各局面に応じた

約210の対応策

新型コロナウイルス感染症に関する対応策（一例）

▶ 感染拡大の防止と対策機能の強化

- ・ 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の着実な推進
- ・ 甲府市医師会との連携によるPCR検査体制の整備
- ・ 自治会における感染予防物品購入への補助
- ・ 消防団に対する感染予防物品の配備
- ・ 無症状者のPCR検査の実施 など

コロナで影響を受け
やすい方々への対応

▶ 市民生活への影響の抑制

- ・ 市税・保険料の納付相談や徴収猶予
- ・ ひとり親世帯臨時特別給付金の支給
- ・ 子ども就学支援給付金の支給
- ・ 子育て世帯への臨時特別給付金の現金支給
- ・ こうふ赤ちゃん応援給付金の支給 など

新規

食材の高騰

⇒ 小中学校、保育施設等の
給食費・副食費を支援

新型コロナウイルス感染症に関する対応策（一例）

▶ 経済活動の不安の縮小化

- ・ 「事業継続支援金」の支給
- ・ 「テイクアウト支援事業」の実施
- ・ 「観光事業者等 衛生対策補助事業」の実施
- ・ 市民の日常生活を支える移動手段（バス・タクシー等）の確保
- ・ 「がんばろう甲府！最大30%戻ってくるキャンペーン」の実施
- ・ 「がんばろう甲府！グリーン・ゾーン応援金」の支給
- ・ 「まん延防止協力事業者応援金」の支給 など

事業所・飲食店等への対応も充実



新規

がんばろう甲府！最大20%
戻ってくるキャンペーン
⇒ 8/1～9/30 実施予定

感染状況や経済情勢などを見極めつつ、

今後も適時・的確な事業を展開

市民の皆様の暮らしを守る支援

感染かなと感じたら…

○甲府市受診・相談センター

対応時間：24時間対応（土日・祝日・年末年始含む） 電話：055-237-8952

ワクチンを接種したい…

○甲府市新型コロナワクチン接種コールセンター

受付時間：平日午前8時30分～午後5時15分 電話：0120-327-198（フリーダイヤル）

○ワクチン接種時のタクシー移動支援

自宅と接種会場間のタクシー移動にかかる運賃を740円（初乗り運賃相当）割引

○聴覚・言語障がいの方のFAX予約

予約シート（市指定）をワクチン接種コールセンターに送付 FAX：055-242-6178

市民の皆様の暮らしを守る支援

暮らしに不安を感じたら…

○甲府市相談先案内専用ダイヤル

受付時間：平日午前8時30分～午後5時15分 電話：055-237-5086

生活の支援が必要だ…

○臨時特別給付金

コロナの影響により家計が急変した世帯等に対し、10万円／世帯を給付

国制度を拡充



○こふん臨時特別給付金プラス

国の給付の対象外となる「住民税均等割のみ課税世帯など」を対象

○住居確保給付金

離職・廃業等により、住居を喪失するおそれのある方の原則3か月間の賃貸住宅等の家賃を支給

2. 「安全」 災害に備えた暮らし

豪雨災害の激甚化による水害リスクへの対応

近年、毎年のように台風・豪雨が猛威を振るっており、大規模災害は身近な地域でも発生している。



千曲川の氾濫（長野市）令和元年10月



伊豆山の土石流（熱海市）令和3年7月

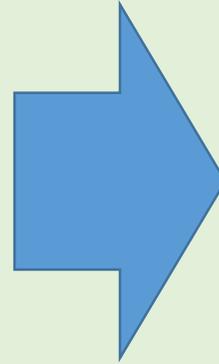
甲府市洪水ハザードマップの改訂

甲府市 保存版

洪水ハザードマップ

	土石流	洪水
	がけ崩れ	
屋内安全確保	情報収集	
立退き避難	非常持ち出し品	
	自主防災活動	要配慮者支援

甲府市
平成31年(2019年)3月



甲府市 洪水ハザードマップ

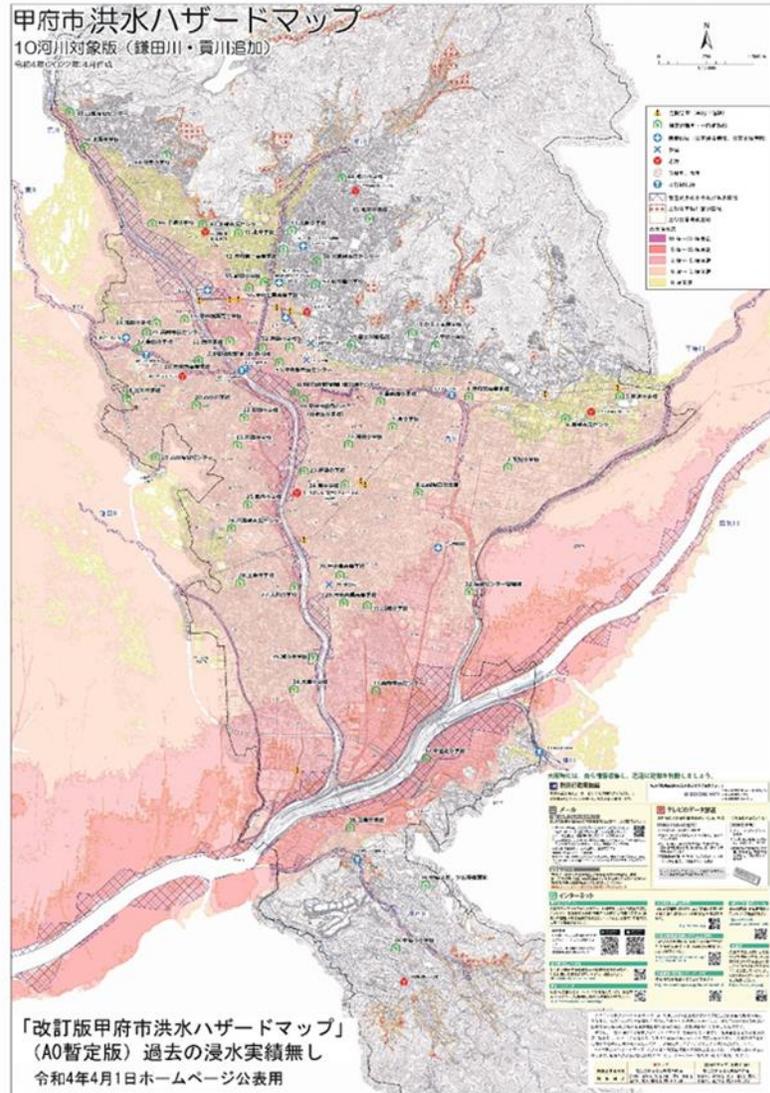
洪水	がけ崩れ	土石流
情報収集	立退き避難	屋内安全確保
非常持ち出し品	自主防災活動	要配慮者支援

今回新たな対象河川の発表と避難情報の大幅な見直しがあったことから、甲府市洪水ハザードマップを改訂しました。ハザードマップ対象河川は随時追加される可能性があります。最新の情報は甲府市ホームページで確認できます。

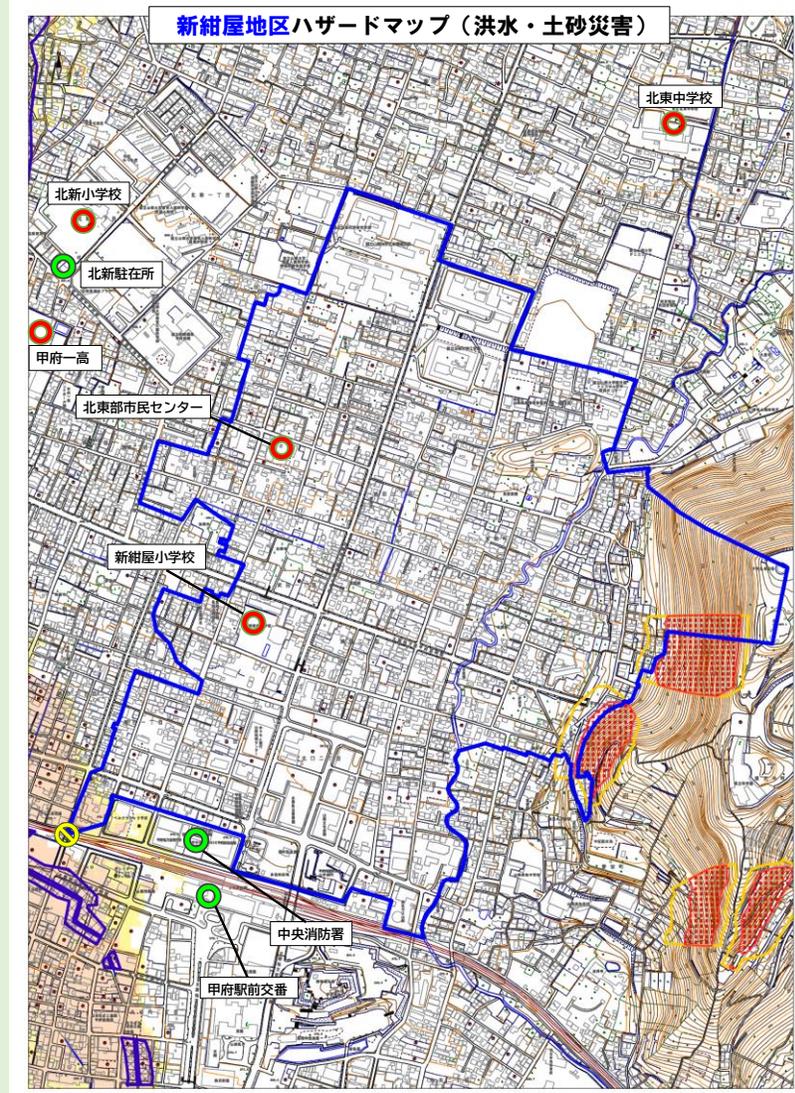
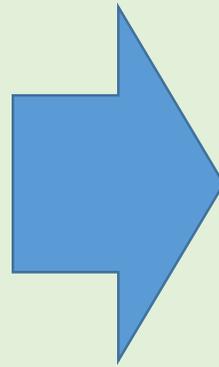
甲府市洪水ハザードマップ 検索

甲府市
令和4年(2022年)4月

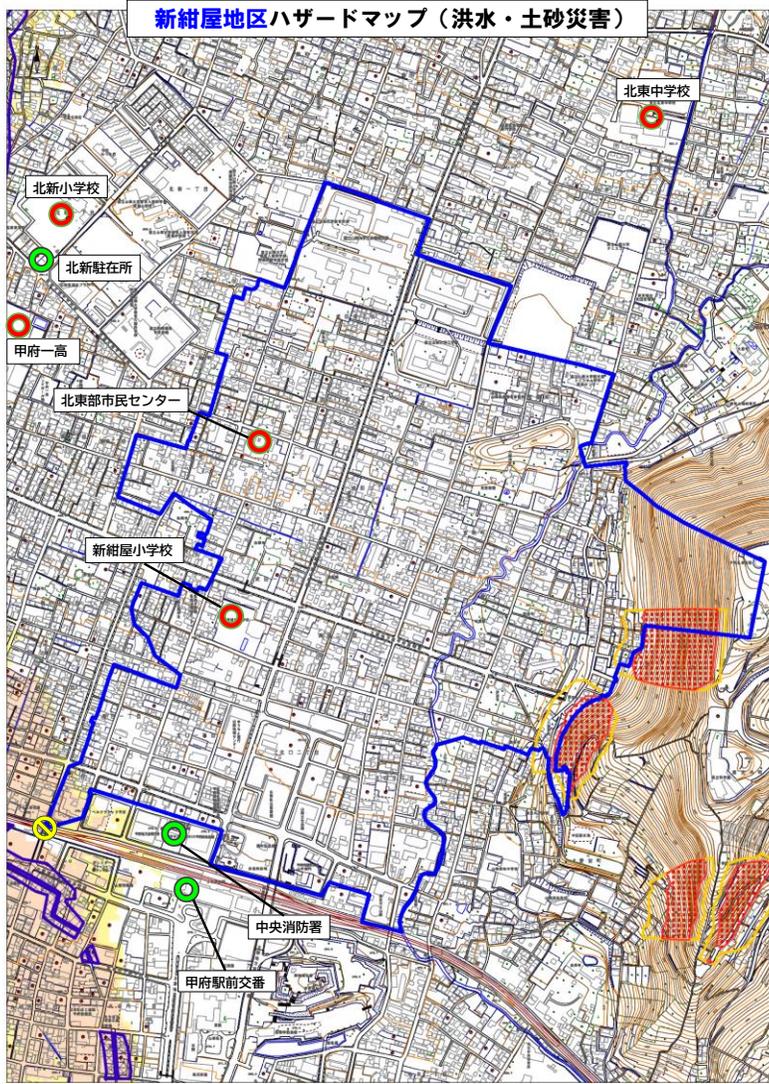
甲府市全体と新紺屋地区の状況



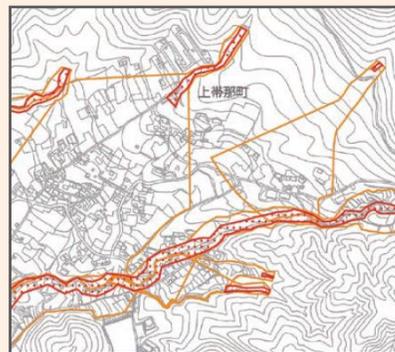
新紺屋地区を
拡大すると



新紺屋地区の水害時の避難



-  土砂災害特別警戒区域
-  土砂災害警戒区域



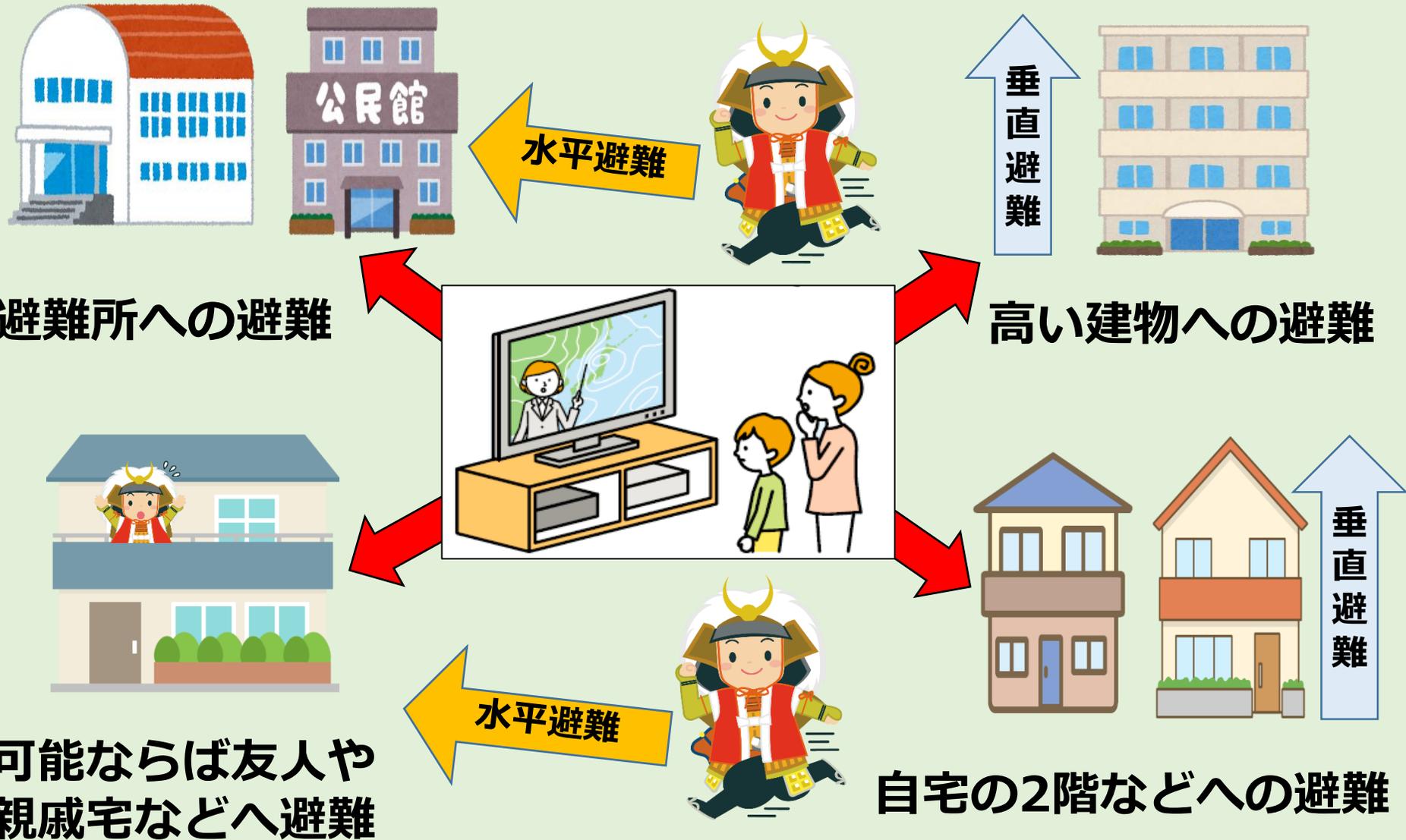
立退
避難



原則として
立退
避難

自宅
待機

避難先の検討（分散避難）



避難行動計画（マイ・タイムライン）の作成

記入例

わたしの避難行動計画（マイ・タイムライン）

警戒レベル		1	2	3	4	5
避難情報	市民に行動を促す情報 <small>※警戒レベル3から 市が発令します</small>	テレビ、ラジオ、インターネット、スマートフォンなどで 気象情報などを確認し、避難に備えましょう。		高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
	気象情報・水位情報など	大雨 土砂災害 洪水 指定河川洪水予報 河川水位情報 (暴風)	早期注意情報 大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報 氾濫注意水位 早期注意情報	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 避難判断水位 暴風警報	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 氾濫危険水位	大雨特別警報 氾濫発生情報 氾濫の発生 暴風特別警報
必要な行動		・気象情報、避難情報を確認する ・避難経路の確認、非常用持ち出し品の確認などの避難準備		高齢者などの避難に時間がかかる方は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	命の危険 直ちに安全確保！
わたしの避難先	〇〇町の祖父母宅	<div style="text-align: center;"> <p>○避難準備開始 ○避難開始</p> <p>★テレビなどで台風の進路を確認 ★避難しやすい服に着替える</p> <p>★ハザードマップを再確認 ★河川の水位情報を確認</p> <p>★庭の点検・片付けをする ★防災アプリで避難情報を確認</p> <p>★家族の予定を確認 ★携帯電話の充電</p> </div> <div style="text-align: right; font-size: 2em; color: red; font-weight: bold;"> レベル4 全員避難！ </div>				
避難の方法	家の車					
避難先までかかる時間	30分					
わたしの行動		避難の準備 <input type="checkbox"/> 避難先・避難経路の確認 <input type="checkbox"/> 必要な物の買い出し <input type="checkbox"/> 火の元・戸締り・ブレーカー <input type="checkbox"/> 避難先を家族や親せきへ連絡		非常用持ち出し品・備商品の確認 <input type="checkbox"/> 食料・飲料水 <input type="checkbox"/> 保険証 <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 雨具・着替え		

※マイ・タイムラインは、あくまで行動の目安です。避難情報や気象情報をこまめに確認し、状況に合わせて臨機応変に行動してください。

水害避難の地区研修会を開催

- 水害時における避難方法や新たなハザードマップの改訂内容を説明
- 市内30地区を令和5年度までに順次実施
- ハザードマップに追加された鎌田川・貢川周辺や、洪水時の影響が大きいエリアを優先し実施

玉諸地区で実施した研修会の様子



コロナ禍での受付・誘導訓練



水害避難方法などを説明



段ボールバット作成訓練_{1 6}

「甲府市防災アプリ」の活用でさらに安心！

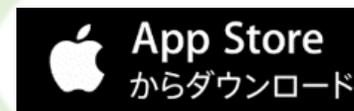


災害時はもちろん、平常時から防災に関する情報収集などにぜひご活用ください。



アプリの
主な機能

- ・ 防災無線の通知
- ・ 避難所開設状況
- ・ 災害、気象情報
- ・ わが家の防災マニュアル電子版



3. 「健康」 元気な暮らし

中核市への移行と「健康支援センター」の設置

「健康都市こうふ基本構想」H30.3

「人」の健康づくり

[一人ひとりが、元気に!]

「地域」の健康づくり

[地域社会が、元気に!]

「まち」の健康づくり

[甲府市が、元気に!]

みんなが健康で、笑顔が絶えない、「**元気Cityこうふ**」を目指す

中核市への移行 (2,549項目の事務)

甲府市健康支援センターの設置 H31.4

甲府市保健所

+

甲府市保健センター

「健康都市宣言」 R1.9



健康都市宣言

自分の健康は自分で守り、日頃から心と体の健康管理に努めます。

家庭や学校での健康教育を通じ、子どもたちの健康づくりに努めます。

地域の人々の交流により仲間意識を高め、
地域全体で協働による健康づくりに努めます。

地域と企業が連携し、地域ぐるみで健康に働ける環境づくりに努めます。

良好な生活環境の維持向上を図り、
市民と地域の健康づくりを応援するまちの実現に努めます。

健康都市宣言（1）

**自分の健康は自分で守り、
日頃から心と体の健康管理に努めます。**

- 青年期・壮年期・高齢期における健康づくりの推進
 - ・健(検)診
がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診 など
 - ・フレイル予防対策
歯つらつ歯っぴーキャラバン など

・健康ポイント(R3新規)

・「健康づくり同窓会」(R4新規)

・国保加入節目年齢者の特定健診無料化(R4新規)



健康都市宣言（2）

家庭や学校での健康教育を通じ、
子どもたちの健康づくりに努めます。

- 妊娠期・子育て期の親と乳幼児期の健康づくりの推進
 - ・子育て世代包括支援センター
 - ・マイ保健師 など
- 少年期の健康づくりの推進
 - ・食育推進 ・プレイリーダーの育成 など



おしろらんど(R3新規)

おうちdeホッとママケア(R4新規)

助産師による第一子新生児訪問(R4新規)



健康都市宣言（3）

地域の人々の交流により仲間意識を高め、
地域全体で協働による健康づくりに努めます。

- 社会全体でお互いの健康を支え合う
 - ・ 食生活改善推進員連絡協議会、愛育会、保健計画推進協議会などの地域団体との協働
 - ・ 地区担当保健師
 - ・ 食品リスクコミュニケーター養成講座 など
- ・ 健康リーダー養成講座(R3新規)



健康都市宣言（４）

地域と企業が連携し、地域ぐるみで
健康に働ける環境づくりに努めます。

- 社会全体でお互いの健康を支え合う

- ・働く世代の「健康づくり講座」
- ・受動喫煙対策

- ・健康チャレンジ表彰(R3新規)



健康チャレンジ表彰
【団体・グループ部門】

健康都市宣言（5）

良好な生活環境の維持向上を図り、
市民と地域の健康づくりを応援するまちの実現に努めます。

- 難病患者等の支援
 - ・医療費助成 など
- 感染症対策
 - ・予防接種 ・結核対策 DOTS支援 など
- 医療環境の充実
 - ・救急医療体制の整備 など
- 生活衛生環境の確保
 - ・猫の不妊・去勢手術費補助事業 など



健康チャレンジ表彰 受賞団体の取組

地域において、住民の健康づくりに熱心に取り組む団体を表彰！！

最優秀賞

住吉地区 青少年育成推進協議会家庭部会



健康チャレンジ表彰 受賞団体の取組

従業員や家族などの健康づくりに積極的に取り組む事業所を表彰！！



新紺屋地区での健康づくりの取組

新紺屋地区

グラウンドゴルフ
練習会



「食推だより」の発行



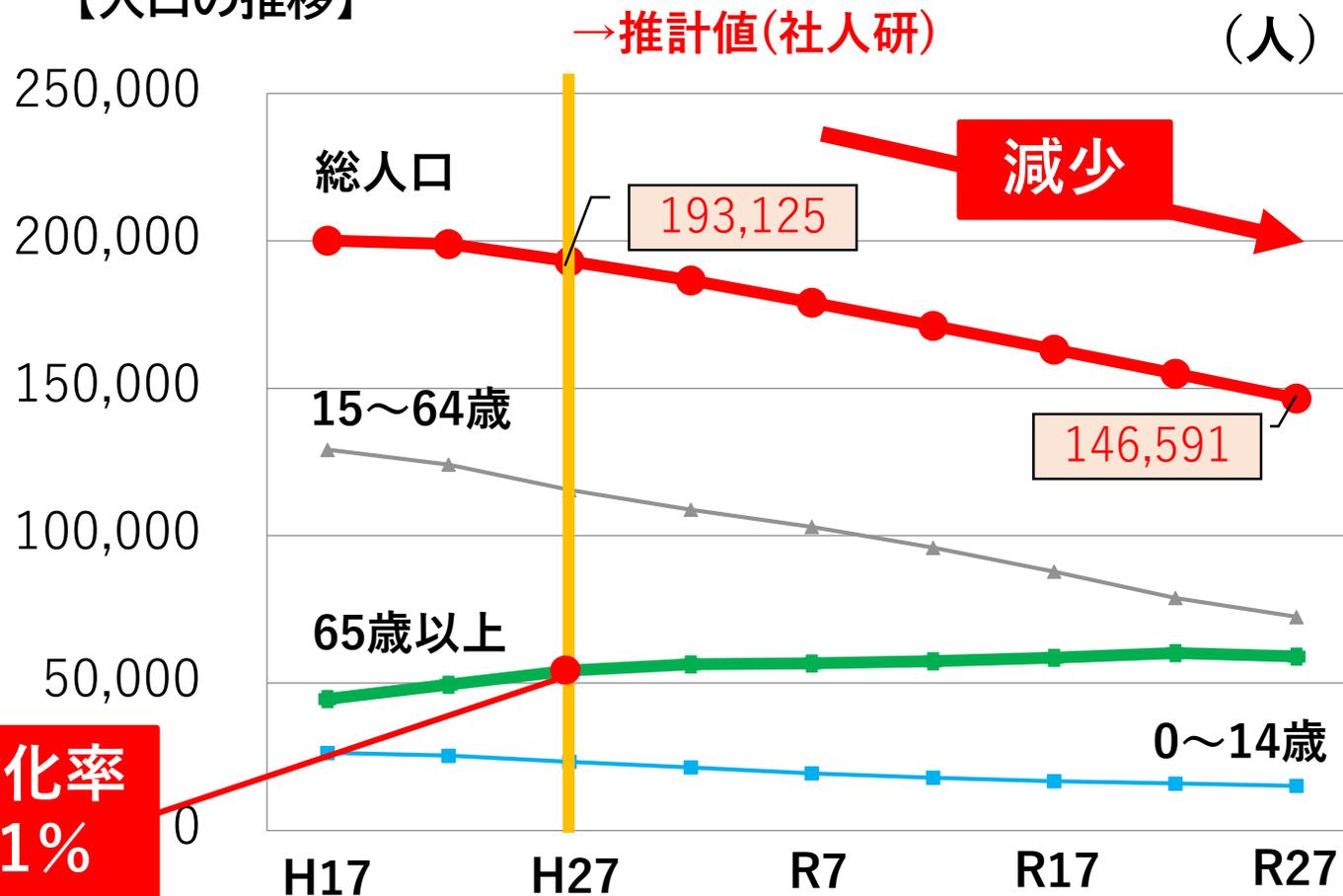
ハワイアンダンス

4. 「連携・協働」 未来に向けて

甲府市における人口の推移

人口の減少により地域の担い手が不足

【人口の推移】



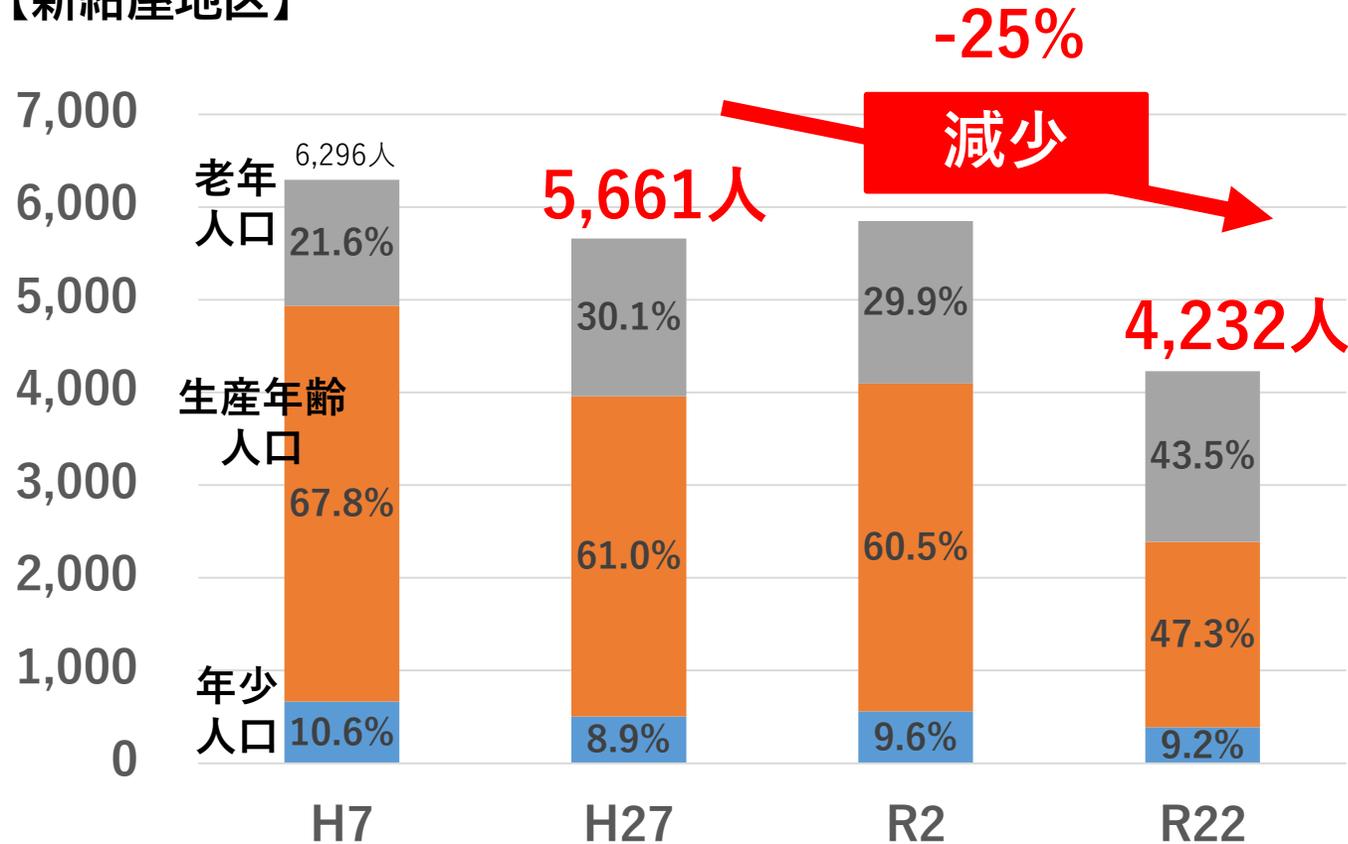
○老年人口が増加する一方、年少人口・生産年齢人口が減少しており、**平成27年の高齢化率は28.1%**。国の推計では、本市は少子高齢化が進行し**令和27年には146,591人まで減少**する見込み。

新紺屋地区の年齢構成別人口推移

人口減少と高齢化により地域力が低下

※H7, H27, R2は国勢調査、R22は社人研推計値

【新紺屋地区】



○平成27年から令和22年に、人口が25%減少する見込み

○令和22年には、生産年齢人口の割合が半数以下になる見込み

これからのまちづくりが大切



新紺屋地区の皆さんの地域の実感

令和3年7月に市民の皆さん1万人を対象に実施したアンケートより

「住みやすい」と感じる理由

(市全体と比較して割合の高い項目)

	甲府市	新紺屋地区
買い物など日常生活が便利	55.1%	59.8%
公共交通が便利	11.5%	24.3%
通勤・通学が便利	23.4%	33.6%
公共施設が充実	2.4%	11.2%
教育環境が充実	1.7%	6.5%
災害のおそれ少なく安心	19.9%	26.2%
車がなくても生活できる	6.2%	14.0%

○住みやすい理由では、「災害のおそれが少ない」「公共交通が便利」「通勤・通学が便利」「車がなくても生活できる」といった安全性や交通便利性、「公共施設、教育環境が充実」の割合が高い。

新紺屋地区（地域）の資源



○近世城下町の骨格を色濃く残すかつてからのまちの「中心」で、**歴史文化資源が豊富**

○エリア北端に、**山梨大学**が立地
○北口周辺で複数の**マンション開発**により居住者が増加

○サドヤワイナリーや**甲州夢小路**などの観光資源、イベントを開催できる**アシストエンジニアリングよっちゃばれ広場**や**甲府市歴史公園**、**県立図書館**があり、市内外からの集客がある

連携・協働によるまちづくり

理想の暮らしや

地域のあるべき姿

公 と 民

連携・協働



人口減少

コロナによる
社会変化

高齢化

地域の特色

地域資源



何をしたい？ 何ができる？

どんな まちを 子どもたちに残したい？

??



伊勢地区の取組

コロナ禍で高齢者が家に閉じこもりがち
⇒ 地域でウォーキングを推進!

ウォーキングマップ
を作成



相川地区の取組

相川地区の抱えている課題を明らかに
⇒ 5つのプロジェクトチームを結成!

新紺屋地区の取組

地区の将来像

「歴史と伝統文化を生かした
人と自然にやさしい
福祉、文教地区」



本市の取組（１）



市全体の事業

子ども

- ・すこやか子育て医療費助成事業の拡充(高校3年生相当まで拡充)
- ・ヤングケアラーへの支援

高齢者

健康

- ・75歳からの健康づくり

- 健康づくり同窓会
- げんきお届け隊
- 3か月血糖チャレンジ

- ・遊亀公園及び附属動物園の整備



公園 4月28日オープン!!

本市の取組（1）

市全体の事業

産業

- **宝石のまち甲府**
「ジュエリーツーリズム」

- **まつり推進事業**

環境等

- **SDGs**における取組の推進



地域

- **消防団の報酬の見直し**



本市の取組（２）

地域に関わる事業

甲府城周辺地域活性化計画整備事業



本市の取組（3）

新紺屋地区の主な事業

- ・甲府駅北口防犯カメラ修繕



要望への対応状況

- ・令和3年度完了 元紺屋町自治会内側溝の改修工事(令和2年度要望)
- ・令和3年度完了 愛宕町北部自治会内側溝の改修工事(令和2年度要望)



まちづくりは未来創り、未来創りは人創り

① 居住する地域の歴史や文化の再認識



重層的で多様な本市の歴史に触れ、学ぶ機会を創出し、甲府に生まれ、育っていることに誇りを持ち、甲府への愛着を深める

★ 私の地域・歴史探訪事業



★ 甲府ラーニング・スピーチ事業



まちづくりは未来創り、未来創りは人創り

②未来を担う新たな人づくり



本市の未来を担う子どもたちに夢を持つことのすばらしさや挑戦し続けることの大切さなどを伝える

★こうふドリームキャンパス事業



こうふ開府500年記念事業による

成果を礎として、次の100年へ

開府500年の取り組みによって更に深まった

『**甲府への愛着と誇り**』を原動力

私たちが引き継いだ甲府市をより住みよいまち、

より活力のあるまちにして、

次の世代（未来）に引き継ぐ

意見交換

本日のテーマ



1. 「安心」 コロナ禍の暮らし
2. 「安全」 災害に備えた暮らし
3. 「健康」 元気な暮らし
4. 「連携・協働」 未来に向けて